

平成 29 年度第 3 回神奈川県立横浜栄高等学校学校運営協議会（記録）

1 日 時：平成 30 年 3 月 22 日（木） 14 時 30 分～16 時 00 分 場所：応接室

2 出席者 （敬称略・順不同）

委 員：鈴木武士（委員長）・世良正浩（副委員長）・吉田敏生（委員）
竹谷康生（委員）・内田久恵（委員）

大澤一郎（委員）・深草伸一（委員）・齋藤晴通（委員）は欠席

学 校：西ヶ谷克彦・旗島経子・赤坂昌幸・黒沢なぎさ・高橋昭・小泉邦弘・高木利也

3 協議会

(1) 校長あいさつ

(2) 平成 29 年度学校評価について（評価部会報告）

①教育課程・学習指導 ②生徒指導・支援 ③進路指導・支援

④地域等との連携 ⑤学校管理・学校運営

各項について、資料に沿って取組の成果と課題および評価について説明。

(3) 学校運営についての協議

○50 分 6 校時授業への変更に伴う生徒の指導を丁寧に行う必要がある。

○学習面で苦しむ生徒もいるはずなので、生徒を支える取組の充実が求められる。

○高大接続改革を視野に入れ、特に英語検定への対応を進める必要がある。

○卒業生による講演会など、身近な人材の活用により生徒の意欲向上につなげる
方策を検討するべきである。

○協働がこれからの社会のテーマになってくると思われるので、高校時代にチー
ムで作業（活動）する機会を多く持たせてほしい。

○防災意識を高めるため、地域行事へのかかわりを強め、生徒が地域の一員であ
るという意識をもたせる必要がある。

○高校生と地域との連携は意義があると思われる。交流の場を多く設定する。

4 平成 30 年度学校運営協議会について

平成 30 年度以降のコミュニティスクール（学校運営協議会）を地域型からテー
マ型に変更する。委員の交代等を含み改組する。

5 諸連絡

特になし。